

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期高梁市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

岡山県高梁市

3 地域再生計画の区域

岡山県高梁市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の国勢調査人口は、平成12(2000)年の41,077人に対して、令和2(2020)年は29,072人となり、20年間で29.2%(12,005人)減少している。これは、同期間における岡山県全体の減少率3.2%を大きく上回るものであり、本市において人口減少が著しく進行していることを示している。

・ なお、前回の調査結果では、平成7(1995)年の43,115人から平成27(2015)年の32,075人へと、20年間で25.6%(11,040人)減少しており、今回の結果では、この20年間の減少率がさらに拡大し、本市における人口減少が一層加速している状況にあることが示されている。

・ 社会動態については、平成3(2011)年以降に改善傾向にあったものの、平成29(2017)年より再び大幅な転出超過が続いている。自然動態についても、死亡数が出生数を大幅に上回っており自然減が続いており、特に出生数は減少傾向が著しく、令和4(2022)年には86人で合併後初めて100人を下回り、令和5(2023)年には80人となっている。本市の人口が今後更に減少していくことが見込まれる中で、地域の担い手減少、地域産業の衰退、地域コミュニティの衰退などといった課題が生じる。持続可能な地域社会をめざしてまちづくりを進めていくためには、急激な人口減少を抑制し、地域の活力を維持していくことが重要である。そのためには、特に、出生率の向上に加え、若年性や若年層(20代)を中心とした社会増が重要であり、年齢構成や男女構成に偏りのない、持続可能な人口バラ

ンスを目指していく必要がある。

これらの課題に対応するため、本計画期間中、子育てしやすい環境整備、医療や福祉、教育の充実、産業の振興、生活基盤の確保など、住民の暮らし全般について総合的に取り組むための5つの基本方針を設定し、人口減少下においても将来に希望を持ち、「市民が幸せを実感できるまち」の実現を目指し、市民や地域団体、各種団体、企業等、まちづくりに関わる全ての関係者の力を結集して推進する。

基本方針1 心のつながりを大切に支え合い、協働と移住・交流を広げる安心のまち

基本方針2 たくましく豊かな心を未来へつなぐ学びのまち

基本方針3 地域産業・地域資源を活かした活力あるまち

基本方針4 美しい自然環境と快適な生活基盤が調和した安心・安全のまち

基本方針5 多様な主体との連携・協働による持続可能なまち

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	ファミリー・サポートセンターの提供会員・両方会員数	31人	42人	基本目標1
	子育て支援センター利用率(※0歳～2歳児の登録者割合)	28.4%	50.0%	
	就学前関係研修会に参加した教職員の割合	80.5%	100%	
	児童扶養手当受給資格者で養育を受給している割合	21.1%	35.0%	
	特定保健指導率	22.7%	60.0%	
	3歳児健診受診率	98.4%	100.0%	
	こころのサポーター養成講座受講者数(延べ)	—	500人	
	65歳以上の元気なからだづくり隊参加率	3.1%	3.5%	

	認知症カフェの参加者数	1,231人	1,300人	
	通所付添サポーター数	168人	200人	
	介護福祉士養成修学支援事業による支援者の市内就職者数(延べ)	10人	20人	
	搬送件数のうち、傷病程度が軽症の方の割合	37.9%	30.0%	
	人生会議(ACP)の認知度	40.3%	50.0%	
	麻しん・風しん混合1期予防接種率	80.5%	95.0%	
	地域定着支援利用者数(月平均)	2人	6人	
	共同生活援助(グループホーム)利用者数(月平均)	59人	65人	
	65歳以上人口のうち、シルバー人材センターに登録している人の割合	1.6%	1.8%	
	健やか高齢者生きがい支援事業ボランティアの人数及び平均年齢	261人・69.7歳	270人・69.0歳	
	市民後見人登録人数	15人	30人	
	就労支援による被保護者就労者率	32%	37%	
	地域ぐるみの受入団体数	6団体	8団体	
	支援制度を利用して整備された世帯向け賃貸住宅等の戸数	81戸	100戸	
	関係人口創出プログラムの参加者数(累計)	6人	100人	
	市民アンケートで「現在住んでいるところに今後も住み続けたいか」の質問で「住み続けたい」の20代30代の回答率	33.0%	40.0%	
	まちづくり研修会参加者数(累計)	66人	500人	
	集落支援員設置数	0人	10人	
イ	全国学力・学習状況調査における全国平均正答率との差	小6:-6.4 中3:-3.8	小6:+1.0 中3:+1.0	基本目標2

	「学校に行くのは楽しいと思う」児童生徒の割合	小6：89.8% 中3：91.5%	小6：100.0% 中3：100.0%	
	「給食が美味しく、とても楽しみ」と回答した児童生徒の割合	-	90.0%	
	「ジュニハイ・ホリメ」参加団体への生徒の参加率	-	80.0%	
	屋内運動場への空調設備の延べ設置箇所数	0箇所	4箇所	
	公民館で実施した若者（39歳まで）が参画した事業数	32事業	42事業	
	社会教育施設の利用者数	77,530人	77,600人	
	文化施設における見学解説数及び出前授業・出前講座数	67件	77件	
	国指定文化財備中松山城入場者数	62,541人	75,000人	
	スポーツ大会や教室・講習会参加者数	11,400人	13,000人	
	広域的なスポーツ交流機会への参加者数（内スポーツ合宿受入者数）	17,782人 (4,082人)	19,500人 (4,700人)	
	人権問題学習講座参加者満足度	92.5%	92.5%	
	審議会・委員会等における女性委員の割合	23.1%	40.0%	
	市国際交流協議会が主催（支援）する交流イベントへの外国人市民参加人数	72人	150人	
	市国際交流協議会の企業会員数	5社	10社	
ウ	新規就農者数（累計）	9人	45人	基本目標 3
	経営管理権集積計画の策定	0ha	70ha	
	有害鳥獣捕獲頭数（野猪、野猿、野鹿、その他）	野猪：2,300頭、 野猿：120頭、 野鹿：80頭、 その他：1,500頭	野猪：2,800頭、 野猿：130頭、 野鹿：80頭、 その他：1,600頭	
	補助制度を利用した新規開業事業所数（累計）	7事業所	38事業所	
	高梁商工会議所・備北商工会の会員数	930名	870名	

	誘致企業数	1社	2社	
	経営革新計画の承認を受けた事業所数	8事業所	10事業所	
	年間の市内学校における新規学卒者の市内就職決定者数	29人	30人	
	えるぼし認定企業数	0社	1社	
	観光リピーター比率	35%	50%	
	観光ガイド活動実績	286件	380件	
	1人あたり観光消費額（日帰り）	4,200円	6,000円	
	歴史的町並み保存地区整備事業実施件数(累計)	83件	88件	
エ	飼い主のいない猫の避妊去勢手術頭数（累計）	-	75頭	基本目標 4
	市内の固定価格買取制度による再生可能エネルギー発電の累積導入容量	71,337kw	73,000kw	
	ごみ出しサポート事業利用世帯数	5世帯	30世帯	
	1人1日あたりごみ排出量（ごみ総排出量/総人口）	965g/人・日	920g/人・日	
	犯罪認知件数（刑法犯）	64件	60件	
	人身交通事故件数	32件	25件	
	防災研修・防災学習受講者数	1200人	6000人	
	防火対象物及び危険物施設査察率（査察件数/査察計画数）	42.0%	100.0%	
	地籍調査事業進捗率	96.2%	96.6%	
	都市計画道路整備延長	8,367m	8,890m	
	公営住宅等長寿命化計画に基づく改善事業	1棟	10棟	
	空き家情報バンク新規登録件数	61件	65件	
	公共交通による人口カバー率（交通空白地地域の削減）	89.3% (R 5)	98.0%	

	街路灯のLED化	68.3%	100.0%	
	水道管路の耐震化施工延長 (和田地区・成羽地区)	586m	2,280m	
オ	市長と気軽にトークの開催回数	11回	18回	基本目標 5
	SNSフォロワー数 (LINE)	2,450人	4,000人	
	市民アンケート「学びのまち」となっていると感じるか」の質問で「感じている」、「少し感じている」の合計	21.1%	30.0%	
	吉備国際大学学生の市内就職者数	10人	20人	
	経常収支比率	96.7%	98.2%	
	民間提案制度利用数	1件	10件	
	オンライン申請率	0.7%	17.0%	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 及び 5-3 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

高梁市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 心のつながりを大切に支え合い、協働と移住・交流を広げる安心のまちをめざす事業

イ たくましく豊かな心を未来へつなぐ学びのまちをめざす事業

ウ 地域産業・地域資源を活かした活力あるまちをめざす事業

エ 美しい自然環境と快適な生活基盤が調和した安心・安全のまちをめざす事業

オ 多様な主体との連携の促進による持続可能なまちをめざす事業

② 事業の内容

ア 心のつながりを大切に支え合い、協働と移住・交流を広げる安心のまちをめざす事業

子育てしやすい環境や地域医療体制の整備、移住定住の促進や交流人口の拡大、地域の“つながり”により支え合い助け合うことにより、誰もが住み慣れた地域で健康に暮らし続けられるまちをつくります。

【具体的な事業】

- ・ 出産・子育て応援事業
- ・ 子育て世帯向け賃貸住宅建設促進事業 等

イ たくましく豊かな心を未来へつなぐ学びのまちをめざす事業

人権を大切にする共生社会の実現、学校教育の充実、生涯学習・生涯スポーツに取り組める環境づくり、文化財の保存と活用に取り組み、地域の歴史や文化等との“つながり”を深め、郷土愛を育み未来へつなぐ学びのまちをつくります。

【具体的な事業】

- ・ 学力向上推進事業
- ・ 地域子育て創生事業 等

ウ 地域産業・地域資源を活かした活力あるまちをめざす事業

地域産業の振興や安心して働ける環境づくりを進めるとともに、観光交流人口の拡大を図り、地域の魅力と活力が高まる賑わいあるまちづくりを進めます。

【具体的な事業】

- ・ 新規就農総合対策事業
- ・ 地域商業活性化支援事業 等

エ 美しい自然環境と快適な生活基盤が調和した安心・安全のまちをめざす事業

豊かな自然との“つながり”を大切にし、かけがえのない財産として守り育てながら、暮らしや経済活動の基礎となる社会基盤の整備と都市機能の維持・確保を図り、美しい自然環境と快適な生活基盤が調和した

安心・安全のまちをつくります。

【具体的な事業】

- ・環境保全対策事業
- ・安心安全啓発推進事業 等

オ 多様な主体との連携の促進による持続可能なまちをめざす事業

地域や各種団体、企業、教育機関といった多様な主体の“つながり”を深め、協働のまちづくりを進めるとともに、行財政改革等を推進し時代に対応した行政経営を確立することにより、地域力を最大限発揮できる持続可能なまちをつくります。

【具体的な事業】

- ・魅力ある大学づくり支援事業
- ・DX推進事業 等

※ なお、詳細は第3期高梁市まち・ひと・しごと総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

500,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

指標の達成状況を毎年把握し、毎年度9月に開催する庁内及び外部有識者会議での評価・検証も踏まえて、必要な見直しと改善を図り、翌年度への事業実施に活かしていくPDCAサイクルを確立する。検証後速やかに高梁市ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2031年3月31日まで

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 高梁市未来人材育成奨学金支援助成事業

① 事業概要

大学等に進学し、卒業後市内企業等に就職し定住を予定している学生を募集する「高梁市人材育成奨学金支援助成事業」を創設している。事業費についても「高梁市未来人材育成基金」に積み立てることとし、一定の要件を満たした者に対して奨学金の返還を助成する。

② 事業実施主体

高梁市

③ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで